

家庭内性別役割分業の国際比較、父親の育児・家事参加、 IT 社会の子育て

石井 昌子 / ISHII, Masako

生活科学部人間生活学科

■専門分野 家族社会学、ジェンダー社会学
■キーワード 性別役割分業、日米比較、父親、母親、育児

連絡先 http://www.soc.ocha.ac.jp/Site/Teacher_Ishii.html

研究内容

■概要（背景・目的・内容）

少子高齢化が続く日本において、父親の育児・子育て参加は必須となってきた。しかし、育児をしたくても、仕事に追われて、現実的に育児や子育てができていない父親は非常に少ない。また、各企業ではワーク・ライフ・バランスを推奨してきているが、理想とする仕事とライフの両立をしている労働者は少ない。同時に、政府は女性の社会的・経済的活躍を支援しようとしているが、現状としてキャリアを築き上げながら、子育ても出来ている女性労働者は少ない。このような日本社会において、家庭内における男女共同参画をどのように推進するのかは、政府のみではなく、自治体や企業においては喫緊の課題である。本研究者の国内外における家庭内分業に関する研究の蓄積は、男女共同参加を推し進めるための企業内や自治体の研修プログラムの作成及びより実践的な政策や教育の構築に多大な貢献をすると思われる。

■応用・将来展望

IT 機器とソーシャルメディアを活用した子育てに関して、育児期の父親と母親を対象として国際比較調査（日本、韓国、アメリカ、スウェーデン）を実施している。この調査には日本学術振興会科研費基盤研究（A）からの助成を受けている。国際比較の視点から国内だけではなく国外からの共同研究の可能性を含んでいる研究プロジェクトである。

■活動実績

内閣府委員 ワーク・ライフ・バランスフォローアップ調査研究員 2014

客員研究員、青山学院大学 2014

日本学術会議 連携会員 2014-2016

内閣府男女共同参画会議専門委員 2012

内閣府男女共同参画会議 基本問題・影響調査専門調査会委員 2012

福井県男女共同参画審議会会長 2014-2016

日本社会学会理事 2015-2017

日本家族社会学会理事・研究活動委員長 2010-2013

日本家政学会家族関係部会役員・編集委員 2013-2016

主要研究成果

「育メン」現象の社会学：育児・子育て参加への希望を叶えるために」ミネルヴァ書房 2013

「男性が「父親」になるには何が必要か」『助産雑誌』 68 巻 768 - 773. (74) 2014

「日本における性別役割分業－女性力と「育メン」現象の関係」Peace and Culture 6 巻 17 - 24. (72) 2014

「着ぐるみキャラクター活用の父子・母子関わりへの影響－子育てカフェイベントの非参与観察データ分析から－」『生活社会科学研究』 21 巻 41 - 49. (71) 2014